

広報わらび

平成25年第1回蕨市議会定例会

施政方針表明全文



蕨の明日をつくる新年度の予算編成

「ふるさと蕨」の更なる発展へ 全力で市政を運営



平成25年第1回蕨市議会定例会が2月25日から3月25日まで開かれました。今議会は、市が1年間の行政を進めるための予算を審議する議会でもあります。増刊号では、議会初日に頼高よりたか英雄ひでお蕨市長が述べた、今年度の施政方針の全文をご紹介します。



議会初日に施政方針表明する頼高英雄蕨市長

蕨の未来を展望して数々の改革を実行中

本日、ここに平成25年第1回蕨市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位には公私ともたいへんお忙しいなか、ご参集を賜り厚くお礼を申し上げます。

今定例会は、平成25年度の当

初予算をはじめとする重要な案件をご審議いただくことになりましたが、この際、私がこれからの市政運営に臨む基本的な考え方や新年度予算の編成方針、更には予算の概要と主な事業について申し上げます。議員各位並びに市

民の皆さんのご理解とご協力をお願いする所であり、

はじめに、去る2月12日、北朝

鮮が国際社会の制止を無視して、

3回目の核実験を強行しました。

これは、世界と我が国を含む、東

アジアの平和に対する重大な脅

威であり、断じて認められないも

のです。世界のあらゆる国の核

兵器の速やかな廃絶を願う平和

都市宣言を行った蕨市の市長と

して、既に、北朝鮮に対して抗議

文を送ったところであり、

改めて、今回の北朝鮮の核実験

強行に対して、断固として抗議す

るとともに、今後、核実験を含め

て、あらゆる核開発計画を破棄す

ることを強く求めるものです。

さて、我が国に甚大な被害を

もたらした東日本大震災から、

まもなく2年が経過しようとし

ています。改めまして、震災で

亡くなられた多くのかたがたに

深く哀悼の意を表するとともに、

被災者の皆様に心からお見舞い

申し上げます。

被災地では、今なお31万人を

超える人々が、不自由な避難生

活を余儀なくされています。深

刻な事故を起こした福島第一原

発の周辺では、自治体が丸ごと

避難を余儀なくされ、いまだ、い

つ故郷に戻れるのか、その見通

しすら立たない状況にあります。

私は、昨年、多大な義援金をお



平成25年第1回蕨市議会定例会初日（2月25日）

寄せいただいた友好都市であるドイツ・リンデン市の皆さんとともに、義援金を贈った宮城県山元町に2回目の訪問を行い、被災地の子どもたちとの交流や町長さんとも懇談をさせていただきました。被災地では市民と行政が一丸となって復旧復興に向けた必死の努力が続けられており、子どもたちも、とっても元気でありましたが、その子どもたちの多くが今なお仮設住宅から学校へ通っているなど、復興は、まさにこれからという状況でした。そして、被災地にとってなによりつらいのは、被災地のことが忘れられてしまうことだ、という言葉も聞かれました。

蕨市では、これまでも義援金の取り組みや宮城県七ヶ浜町への職員派遣、蕨に避難してきたかたがたへの水道料金の減免など、さまざまな支援を行ってまいりましたが、私は、こうした被災地の現状や被災地の皆さんの言葉を重く受け止め、新たに、蕨市職員を1年間、山元町に派遣するなど、これからも息長く被災地支援に取り組んでいく決意を新たにしました。

次に、我が国経済は、長引くデフレ不況に加え、少子高齢化と人口減少社会の到来、国と地方の債務残高の増大など、たいへん厳しい現実と直面をしています。

そうしたなかで、昨年末、第2次安倍政権が発足いたしました。が、今、新政権に対する市民の一番の期待は景気の回復にあります。政府においては、緊急経済対策を柱とする13兆1000億円に上る大規模な補正予算を編成するなど景気回復を最優先課題に取り組みまれておりますが、蕨市としても、こうした補正予算を活用すべく、現在、新たな補正予算の編成作業を進めており、またお願いしたい、議会に追加提出させていただきたいと考えております。

私は、地方と中小企業が元気になる、賃上げや雇用の拡大により、市民が豊かになってこそ、ほんとうの意味での景気回復が図られると考えており、そうした方向での景気対策が進むことを強く期待しています。同時に、市民生活は依然として厳しい状況が続いていることから、今後とも市民の暮らしを守る自治体の役割をしっかりと果たすべく、市政運営に当たる決意であります。

さて、昨年は、2期目のマニフエスト「新あったかプラン」で告示した「安全安心のまち」、「にぎわいと活力あるまち」、「子どもとお年寄り、障害者に優しいまち」という蕨ビジョンの実現に向けて、学校体育館の耐震化と大規模改修や自主防災組織への支援強化など災害対策に重点を置

きつつ、地域貢献活動に対するポイント制度の創設、小学校に続く中学校全教室へのエアコン設置、75歳以上のぶらつとわらび無料化など、お約束した施策を着実にスピーディーに推進することができました。その結果、新マニフエストの進捗率は実施済みと着手を合わせ、87%となりました。

更に、静岡県湖西市との災害時における相互応援協定の締結や老朽空き家等の安全管理に関する条例制定、蕨戸田衛生センター組合焼却炉の余剰発電を利用する電力の地産地消の取り組みなど、新たな施策による安全安心のまちづくりも積極的に推進いたしました。

私は、市長就任以来、市民の暮らし重視、新たな施設建設から公共施設の保全・長寿命化への転換、市政の健全化との両立など、蕨の未来を展望し、さまざまな改革を進めてまいりましたが、特に、重点的に進めている公共施設や水道の耐震化・長寿命化は、防災対策としてはもちろん、日本社会が直面している社会インフラの老朽化への対応としても、たいへん意義あるものと考えています。

今年も、こうした改革を堅持しつつ、市民の安全安心を最優先に、お約束した諸施策をしっかりとお前に進めていきたいと考えています。

「3つのビジョン」実現に向けた重点事業

それでは、ここで、平成25年度予算編成の基本的な方針を申し上げます。

第1は、引き続き、「新あつたかプラン」でお示しした蕨のまちの3つのビジョン実現に向けた重点事業に取り組むこと、第2は、第4次蕨市総合振興計画の最終年度に当たり、その総仕上げを行うとともに、蕨の未来を見据えた新たな長期計画である(仮称)「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの策定作業を進めること、第3は、平成22年度に策定した「わらび地力発揮プラン」に基づき、蕨の良さである地域を生かした協働のまちづくりを本格的に推進



今年度で全学校体育館の耐震化が完了 (北小学校)

し、地域の絆を深め、ふるさと蕨づくりを進めること、そして、第4は、地方自治体を巡り、依然としてたいへん厳しい財政状況が続くなかで、蕨市が将来にわたり、魅力的で、持続可能な都市として発展できるよう、引き続き、市政の健全化を進めることです。それでは次に、平成25年度に進める、蕨のまちの3つのビジョン実現に向けた重点事業について申し上げます。

安全安心のまち

第1のビジョン「安全安心のまち」では、災害に強いまちづくりを目指して、次の3つの重点事業に取り組みます。

第1点は公共施設の耐震化の推進です。24年度から取り組んでいる学校体育館の耐震化と大規模改修は、残りの北小・中央小・中央東小・一中・東中について、国の経済対策による追加措置を活用して、国庫補助金を確保し、24年度補正予算に前倒し計上し、25年度中に完了させます。これで、学校の耐震化率は100%となります。総事業費は、約11億円に上る大事業となりますが、国庫補助金のほか、市債、財政調

整基金からの繰入金なども活用し、財源を確保いたします。そのなかでも、北小学校の体育館については、佐野千恵子さんからいただいた1億円の寄附について、「地元北町地区の子どもたちのため」という佐野さんのご意向を踏まえて活用させていただき、屋根のふき替えなど、独自のリニューアルを図ってまいります。また、学校施設に続き、市立保育園の耐震化を進めるとともに、公民館の耐震診断に着手いたします。

第2点は、地域の助け合いの力を高めるべく、引き続き、自主防災組織への支援を強めることです。24年度に実施した特別交付金事業では、これを活用して、各自主防災組織において、発電機や防災倉庫の整備など、防災への備えが充実されました。25年度においては、地域における防災リーダーを育成するため、蕨市独自に災害図上訓練や避難所運営訓練などを内容とする防災リーダー研修を実施いたします。

確保する観点から、新たに鉛製給水管の取り替え工事に対する補助制度を創設し、その促進を図ってまいります。

にぎわいと活力あるまち

第2のビジョン「にぎわいと活力あるまち」では、引き続き、中心市街地活性化基本計画の国の認定に向け、計画の修正や国との協議を進めるとともに、計画に位置づけられた施策について、可能なところから、その推進を図っていくことです。

中心市街地活性化基本計画において国が想定をしているのは、どちらかというと、人口が減少し、まちの中心部での衰退が進む地方都市であります。その点、蕨市は、人口は微増傾向にあり、駅の乗降客も多いなど、現時点でも、活力あるまちといえます。しかし、周辺地域への相次ぐ大型店の出店や長引く不況の影響で、市内商店街がたいへん厳しい状況に直面していることは事実であり、なによりも、元気な商店街は魅力的なまちづくりを進める上で欠かせません。そこで、日本一のコンパクトシティの良さを生かし、商店と市民、行政が一体となり、元気な商店街づくりや活発な市民活動を通じて、より魅力的で生活を楽しめる都市として、更なる



商店、市民、行政が一体となり更なる地域活性化を

発展を目指してまいります。

具体的には、蕨市にぎわいまちづくり連合会、「まち連」との協働により、成果を上げつつある空き店舗有効活用事業や、くらしの商品券を生かした地域貢献活動と商業活性化の取り組みを更に推進するとともに、歴史民俗資料館分館につきましては、国の商店街等構造改革支援事業を活用した各種調査分析を、中仙道蕨宿商店街振興組合や「まち連」とともに実施し、その結果も踏まえて、食と文化の交流拠点としての有効活用の更なる検討を進めます。また、蕨駅東口のショッピング道路整備に向けて、地元商店街との勉強会の開催など、取り組みを進めてまいります。続いて、蕨駅の玄関口にも位



今年開設120周年を迎える蕨駅



特別養護老人ホーム予定地（南町2丁目）

置する中央第一地区のまちづくりにつきましては、昨年12月、正式に土地区画整理事業の中止と新たなまちづくりに向けた「中央第一まちづくりプラン」を決定いたしました。厳しい財政状況のなか、事業見通しの立たない区画整理の手法から、都市計画の手法による修復型のまちづくりを転換を図り、建築制限の解除による建て替えの促進、道路の拡幅や隅切りなどによる災害に強いまちづくりを進めるとともに、西口商店街通りの魅力ある商業空間の創出に向けて、25年度は、都市計画の手続きを進め、26年度からの事業開始を目指してまいります。

更に、今年、蕨駅開設120周年の年であることから、現在、地元の市民や商店街の皆さん、

子どもとお年寄り、 障害者に優しいまち

第3のビジョン「子どもとお年寄り、障害者に優しいまち」では、市内3か所目となる特別養護老人ホームの誘致に向けて、この間、蕨市が奨励金を交付することで、沖電気グループが、所有する南町2丁目の土地約2500平方メートルを社会福祉法人に貸し付け、同法人が特別養護老人ホームを整備するという方向で準備が進められております。

昨年11月、同法人が埼玉県に提出した事業計画が認められたことから、新年度から、具体的な整備が進められる予定です。計画内容としては、個室ユニット90床、シヨートステイ10床、そのほか、デイサービスの実施も予定されており、27年4月の開設に向けて、市として、支援してまいります。

また、障害のあるかたがたが蕨に住み続けられるよう、その増設が切望されてきた障害者のグループホームの整備に向けて、この度、入居者がいなくなった老人アパート松原荘を解体し、その跡地の一部を活用して、グループホームを整備する事業を進めることといたしました。施設の概要は、居室が6部屋以上、シヨートステイ2部屋としており、現在、事業者の公募を実施しているところで、26年度中の整備を目指してまいります。

更に、子どもたちの自主的な学習活動をサポートし、子どもたちに学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図ることを目的に、「わらび学校土曜塾」を開設いたします。開設に当たっては、教員のOBや大学生、地域の皆さんを中心に、実行委員会を作り、25年度は東小・西小・南小の3校で実施し、その後、全小学校に広げてまいります。

「新あったかプラン」6本柱を着実に推進

それでは、以上のような基本方針に基づき編成した平成25年度一般会計予算の大綱を申し上げます。

予算編成に当たりましては、先ほど申し上げましたとおり、国の補正予算も活用し、13か月予算という考え方で、編成いたしました。

まず、歳入においては、根幹をなす市税収入は、主に、市民税個人分が景気の落ち込みによる影響が想定より少なかったことなどにより、前年度より2億円増の107億円と見込み、地方交付税は、24年度実績や国の予算案などを踏まえ、前年同額と見積もったほか、戸田競艇組合からの配分金は昨年に引き続き減額となっております。

一方、歳出においては、雨水調整池などの整備事業費減による公共下水道事業特別会計繰出金の減額や市債の元利償還金の減額などを見込む一方、社会保障関連経費の伸びをはじめ、民間認可保育園の新設に伴う運営委託経費や公民館の耐震診断経費、退職職員数の増に伴う退職手当額の増などにより、歳出予算総額は増額となっております。

その結果、一般会計予算の当初予算規模は、前年度と比べ3億4000万円多い213億6000万円となっております。また、特別会計においては、6つの特別会計で、総額は160億1300万円、病院・水道の企業会計合計額は44億5019万1000円であり、以上の全会計を合わせた蕨市全体の予算総額は418億2319万1000円となりました。

防災、防犯、環境、まちづくりなど安全安心、環境に優しい蕨へ

第1の柱であります「防災、防犯、環境、まちづくりなど安全安心、環境に優しい蕨へ」では、まず、災害に強いまちづくりに向けて、重点事業として申し上げた学校体育館の大規模改修を含む耐震化工事を24年度補正予算に前倒しして実施するほか、二中体育館については、昭和56年以降の建築であり、耐震

基準は満たしておりませんが、照明など非構造部材の耐震化を図るべく、設計予算451万5000円を計上しております。

保育園の耐震化については、24年度に耐震診断を行った3園のうち、みどり保育園とさつき保育園の耐震化工事を行うとともに、さくら保育園の耐震設計を実施いたします。

公民館の耐震化については、25年度は、東公民館・西公民館・南公民館の耐震診断委託料1090万5000円を計上いたしました。

災害時に市民に情報を伝える上で重要な役割を果たす防災行政無線については、市内全域で難聴地域調査を実施いたします。

また、本予算とは別に、国の補正予算を活用し、大規模災害



国の補正予算を活用して消防救急無線をデジタル化に

時における緊急消防援助隊の災害対応力の強化を図るため、現在アナログ方式で運用されている消防救急無線設備のデジタル化に向けた予算を追加で提出すると考えております。

更に、災害時には、若い力の発揮も重要であることから、新たに、中学生を対象とする避難誘導や避難所開設体験、救命救急講習、市の防災訓練への参加など、仮称「中学生地域防災支援事業」を実施いたします。

次に、防犯対策では、町会をはじめ市民の皆さんと行政、警察の一体となった取り組みにより、24年中の蕨市内の犯罪件数は、前年と比べて約8%減少しましたが、防犯活動の更なる推進に向け、引き続き、自主防犯組織に対する防犯用品購入費補助を行います。また、消費電力が少なく、寿命が長いLED防犯灯100基分の予算を計上いたしました。

交通安全対策では、交通関係団体をはじめ、多くの皆さんのご協力により、蕨市では、昨年1年間を通じて交通死亡事故が1件もなく、先日、県知事から表彰を受けたところでありますが、25年度は、年次的に進めている交通事故多発地区整備事業のほか、新たに南町地区の一部

が生活道路の自動車の速度規制を30^キに制限するゾーン30に指定されることから、その標示のための整備を行います。

また、依然として自転車事故の比率が高いことから、錦町の一部区間で自転車と歩行者を分離する歩道の整備を進めるほか、市内3つの中学校において、スタントマンの実演による交通安全教室を開催いたします。

次に、昨年12月議会で成立いたしました「蕨市老朽空き家等の安全管理に関する条例」が4月1日に施行されることから、倒壊などの危険がある空き家の所有者に対して助言指導を行い、解体する場合には30万円を限度に解体費用の一部を補助するための予算を計上するほか、危険な老朽空き家において、相続人が明らかでない場合、家庭裁判所に、相続財産管理人の選任を申し立てるための費用202万円を計上いたしました。

錦町土地区画整理事業につきましては、厳しい財政状況にもかかわらず、その推進に向けて、毎年、一般会計からの繰出金を増額してまいりましたが、25年度予算では、前年度比21%、1820万円増の8億9589万円を計上し、32戸の家屋移転や2棟4世帯の仮設住宅建て替えなどを予定しております。なお、

24年度は国庫補助金が見込みより大幅に減額したことなどにより、移転家屋の減少を含めた補正予算を提出しておりますが、それとは別に、国の補正予算を活用して、8戸の家屋移転を追加することなどを内容とする補正予算の編成作業を進めております。

また、わらび公園地下の雨水調整池完成後のわらび公園再整備として6250万円を計上いたしました。更に、緑川に架かる一中脇の橋梁が老朽化していることから、架け替えに向けて設計委託料317万円を計上しております。

地域活性化、元気な商店街、文化スポーツなどにぎわいと活力ある蕨へ

第2の柱であります「地域活性化、元気な商店街、文化スポーツなどにぎわいと活力ある蕨へ」では、24年度に予算を15倍に増額した住宅改修資金助成金は、現在、22件、142万円の補助を実施し、市内業者への発注額が約3860万円、補助額に対して27倍となるなど市内経済の活性化に大きな効果を発揮していることから25年度も引き続き150万円を計上いたしました。

また、中小企業経営合理化資金など市の制度融資の新規利用



わらびりんごの普及に接ぎ木講習会を開催

者に対する利子及び保証料補給更には、商工会議所が行う、いわゆる「マル経資金」に対する利子補給については、24年度末で終了予定でありましたが、国の金融円滑化法が24年度末で終了し、中小企業の資金需要が高まることも予想されることから、25年度も継続することといたしました。

わらびりんごによるまちづくりでは、引き続き、園芸緑化研究会に対して、苗木の育成や商品開発に向けて補助金を支出するほか、新たに、ふれあい交流協定を締結している群馬県片品村との技術交流、更には、わらびりんご通りの整備を進めるとともに、わらびりんごによるまちづくりを進めるための市民懇談会の設置を検討してまいります。



小学校の全学年で35人程度学級を実施(中央東小学校)

また、地域力発揮プランで掲げた蕨の更なる魅力発信に向けて、蕨にゆかりのある著名人や文化人のかたがたに、蕨の情報発信を行っていただく蕨PR大使制度も創設いたします。

蕨駅西口再開発の第二、第三工区の計画見直しについては、24年度は商業需要調査を実施いたしました。25年度も、地区協議会への支援を継続しつつ、権利者の意向を踏まえながら、事業成立性の検証に必要な計画素案作りに取り組んでまいります。

子育て支援、教育の充実 など、子どもたちの 笑顔あふれるまちづくり

第3の柱であります「子育て支援、教育の充実など、子どもたちの笑顔あふれるまちづくり」

では、子育て支援の拡充に向けて、23年のけやき保育園に続き、本年4月、錦町1丁目に、定員105名の民間認可保育園「アートチャイルドケア蕨」が開設されることから、民間保育園委託料及び事業費等補助金として、24年度より約1億増の1億7777万円を計上いたしました。

また、子宮頸がんワクチンやヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンへの公費助成を拡充し、無料で接種できるよう改善を図ります。

教育においては、一人ひとりの児童・生徒への行き届いた教育に向けて、24年度から対象を6年生までに拡大した35人程度学級については、25年度は4校7学年が対象となり、市費教員を7名採用する予定です。

また、引き続き、アウトメディアの取り組みを推進するため、アウトメディアインスタクター養成講座や啓発講演会を開催するとともに、児童・生徒の読書活動の充実に向けて、23年度から全小・中学校において学校図書充足率100%を実現しておりますが、25年度においては、子どもの読書活動を支援するために、中学校区ごとに1名、司書資格を有する学校図書館教育支援員を配置してまいります。

介護、健康づくり、障害者 福祉など、誰もが安心 して暮らせるまちづくり

第4の柱である「介護、健康づくり、障害者福祉など、誰もが安心して暮らせるまちづくり」では、今年度策定する「わらび健康アップ計画」の推進を図るため、新たに、「(仮称)蕨市健康づくり推進会議」を設立するとともに、モデル地区を指定して、市民と行政の協働による健康づくり事業を促進してまいります。

障害者福祉では、障害のあるかたがたの相談支援事業を拡充させるため、新たに、総合社会福祉センター内のドリーマ松原に基幹相談支援センターを設置するとともに、相談支援体制の拡充を図ってまいります。

また、新たに、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度の難聴児に対して、言葉やコミュニケーション能力の取得や学習機会の確保を図るために、補聴器の購入に対する補助制度を創設いたします。

更に、重度心身障害者医療費の助成については、利用者の利便性を図るため、25年度から、全ての利用者を対象に蕨戸田市内の医療機関での医療費の窓口払いを廃止いたします。

そのほか、介護保険を利用した住宅改修や福祉用具購入について、新たに受領委任払いを導入し、より使いやすい制度へ改善を図ってまいります。

市民との協働を本格的に 進め、心が通い合い、 みんなでつくる蕨

第5の柱であります「市民との協働を本格的に進め、心が通い合い、みんなで作る蕨」では、昨年12月、「蕨市市民参画と協働を推進する条例」(愛称「みんなで作る蕨」)が、議会の皆さんのご協力により、一部修正の上、成立いたしました。この条例は、蕨におけるこれまでの協働のまちづくりの成果の上に立って、これを更に推進する条例であります。条例制定を受け、25年度は、新たに協働事業提案制度を創設し、そのための予算100万円を計上いたしました。

加えて、地域力発揮プランでも掲げた花いっぱい運動の更なる推進に向けて花いっぱい運動の表彰制度を創設いたします。更に、民間企業や団体との協働について、この間、特別養護老人ホームの整備では沖電気グループのご協力をいただき、孤立死防止の取り組みでは、新聞販売店や水道検針事業者、郵便局、生活協同組合との協定を締結して

まいりましたが、この分野でも、更に協働を推進してまいります。

引き続き、市財政の健全化を 進め、持続可能な都市・蕨へ

第6の柱であります「引き続き、市財政の健全化を進め、持続可能な都市・蕨へ」につきましては、蕨市を、将来にわたり、魅力的で持続可能な都市として経営していくために、改めて、子どもや孫の代に借金のツケを残さないとの決意のもと、防災対策をはじめとする各種施策を積極的に進めながら、同時に、市の借金総額を減らし、市財政の健全化との両立を図ってまいります。

そのためには、まず、市職員の人件費について、蕨市はこれまでに定員適正化計画などに基づく職員数の削減や管理職数の抑制、人事院勧告に基づく見直しなどにより削減を進めてきており、25年度についても当初予算ベースでは約5800万円程度の減額を見込んでおります。また、市税をはじめとする収納率の向上に向けて、この間、埼玉県から職員派遣を受けるなどの取り組みを進め、市税並びに国保税の収納率は、ここ3年、連続して改善が図られてきていますが、25年度も引き続き、債権管理対策委員会の下、税外収

入も含めた更なる収納強化に努めてまいります。

土地開発公社については、健全化計画に基づき、24年度補正予算並びに25年度当初予算において、旧郵便局跡地の4分の3、1225・01平方メートルの買い戻しを行います。なお、旧郵便局跡地の管理については、24年度より、民間活力を活用することで経費削減と収入増を図っており、全体として400万円程度の効果が見込まれます。

更に、蕨市の基幹システムにつきましては、当初、24年度の更新を予定しておりましたが、更なる合理化と経費削減の観点からオープン化について検討を進めた結果、従前の蕨独自の専用システムからオープンシステムに移行することで、他の自治体との共通パッケージを活用でき、保守委託料やシステム改修費用など、全体として経費削減が図られる見込みとなったことから、従前の専用システムによる24年度の更新を見送り、26年1月よりオープンシステムに移行することといたしました。その結果、従前の専用システムと比較して、経費削減効果が見込まれます。

以上が、平成25年度の予算編成方針並びに主な事業内容であります。

全国に誇れるまち蕨の更なる発展に全力

さて、さきほど蕨の魅力発信に向けて蕨PR大使の制度を創設することを申し上げましたが、私は、市長として市政運営に携わるなかで、蕨のすばらしさを実感することが多々あり、特に、全国で活躍している蕨にゆかりのあるかたがたが、いつでも、ふるさと蕨のことを思い、さまざまなご協力をいただいていることもその1つです。まもなく桜の季節を迎えますと、南公民館では、「桜のまち南町文化展」が開催されますが、ここでは、毎年、画家で蕨市在住の智内兄助さんや市内にある河鍋暁斎記念美術館にご出品いただくなどのご協力をいただいております。

智内さんは昨年パリで個展を開き、好評を博しましたが、パリでは同時期に「笑い」をテーマとして作品展が開催され、そのなかで、河鍋暁斎が大きな評価を受けていたそうです。日本のコンパクトシティ蕨にゆかりのあるかたがたが、芸術の都パリで活躍している、ほんとうにすばらしいことです。

また、NHK大河ドラマ「太平記」など、脚本家、映画監督として大活躍をしている池端俊策さんは、現在、文化ホールくるるにおいて、「くるる演劇講座」を開催していただいておりますが、オーディションに合格した12人の受講生が15回もの講座を受け、最後は、ふるさと蕨をテーマに演劇の発表を計画しているそうです。

私は、これからも、こうした皆さんのご協力もいただきながら、全国に誇れる、ふるさと蕨のまちづくりに、市長として全力を尽くしていく決意であります。議員並びに市民の皆さんにおかれましては、なおいっそうのお力添えを心からお願いを申し上げます。平成25年度の施政方針表明といたします。ありがとうございました。



河鍋暁斎記念美術館（南町4丁目）

～今議会で決された議案～

平成25年第1回蕨市議会定例会に市長から提出され、決された議案は39件です。

●新規条例

- 蕨市将来構想を議会の議決すべき事件として定める条例
- 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例
- 蕨市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- 蕨市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
- 蕨市道路の構造の技術的基準を定める条例
- 蕨市市道に設置する道路標識の寸法を定める条例
- 蕨市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する条例
- 蕨市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
- 蕨市水道事業鉛製給水管改修基金条例
- 蕨市水道事業布設工事監督者及び水道技術

管理者の資格基準等に関する条例

●一部を改正する条例

- 市の機関の請求によって出頭した者及び公聴会に参加した者に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 蕨市職員退職手当条例等の一部を改正する条例
- 蕨市手数料条例の一部を改正する条例
- 蕨市都市公園条例の一部を改正する条例
- 蕨市下水道条例の一部を改正する条例

●廃止条例

- 蕨都市計画事業下蕨土地区画整理事業施行規程を定める条例を廃止する条例

●平成24年度補正予算

- 平成24年度蕨市一般会計補正予算(第5号)
- 平成24年度蕨市一般会計補正予算(第6号)
- 平成24年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成24年度蕨市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成24年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成24年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成24年度蕨都市計画事業中央第一土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成24年度蕨市介護保険特別会計補正予算(第2号)

- 平成24年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成24年度蕨市立病院事業会計補正予算(第1号)
- 平成24年度蕨市水道事業会計補正予算(第1号)

●平成25年度当初予算

- 平成25年度蕨市一般会計予算
- 平成25年度蕨市国民健康保険特別会計予算
- 平成25年度蕨市公共下水道事業特別会計予算
- 平成25年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算
- 平成25年度蕨都市計画事業中央第一土地区画整理事業特別会計予算
- 平成25年度蕨市介護保険特別会計予算
- 平成25年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成25年度蕨市立病院事業会計予算
- 平成25年度蕨市水道事業会計予算

●人事案

- 教育委員会委員の任命の同意について

●その他

- 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について